

# 講習の 日本語指導ガイド

公益財団法人 国際研修協力機構

講習における日本語学習は、  
技能実習生が安全でかつ充実した実習生活を送るうえで、  
大変重要な役割を担っています。

限られた時間を有意義に使って、より満足の得られる学習を行うには、  
どんなことを、どんな教材を使って指導すればいいのでしょうか。

講習の日本語指導の基本的な考え方、指導のポイントを  
本パンフレットにまとめました。

技能実習生への日本語指導の参考にご活用ください。

# 目次

<b>I. 講習について</b> .....	3
1. 講習の実施は法務省令で定められています .....	3
2. 講習の時間数と内容 .....	3
<b>II. 日本語指導の内容 ～学習目標をもつ～</b> .....	4
1. 技能実習生に必要な日本語を学習目標に .....	4
2. 学習目標の例「技能実習生が身につけたい日本語の力」 .....	5
3. 学習目標は関係者で共有する .....	6
4. 学習目標を確認しながら指導を進める .....	6
[参考資料] 「技能実習生が身につけたい日本語の力」 .....	7
[参考資料] 「日本語チェックシート」 .....	9
<b>III. 日本語指導のポイント</b> .....	11
1. 指導計画は、入国前、入国後の学習環境を考慮して .....	11
2. 楽しく飽きさせない時間割に .....	13
3. なるべく日本語で授業を進める .....	14
4. 「聞く」「話す」がたくさんできる工夫を .....	15
<b>IV. 教材の種類、使い方</b> .....	16
1. 主教材と副教材 .....	16
2. 職種別の教材 .....	17
3. 身の周りにある教材いろいろ .....	17
JITCOの日本語教材 .....	18
JITCOの日本語教育支援 .....	22
<ワンポイントガイド> 日本語しかできない人は指導ができない？ .....	14
“聞き返す力” も大切な学習目標です .....	15
小学校の国語の教科書は簡単な日本語？ .....	16
「技能実習生の友」は使える！ .....	17
周りにいる人は生きた“教材” .....	17
教室にあると便利なもの .....	21

# I

## 講習について

### 1. 講習の実施は法務省令で定められています

技能実習生の受入れにあたっては、監理団体(企業単独型受入れの場合は企業)が講習を行うことが上陸基準省令(平成22年法務省令第39号)によって義務づけられています。講習の時間数および内容は下記の通りです。

日本語の指導計画を考える際は、講習の実施方法等についてきちんと把握しておく必要があります。

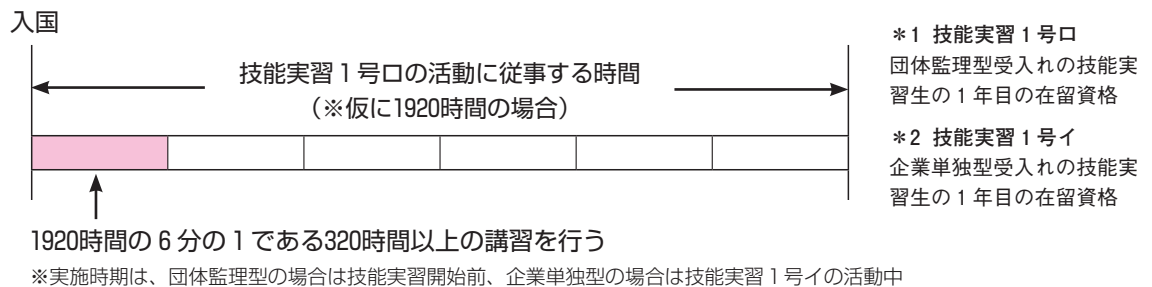
※詳しくは、「技能実習生の入国・在留管理に関する指針」(法務省入国管理局平成21年12月)参照

### 2. 講習の時間数と内容

#### 講習の時間数

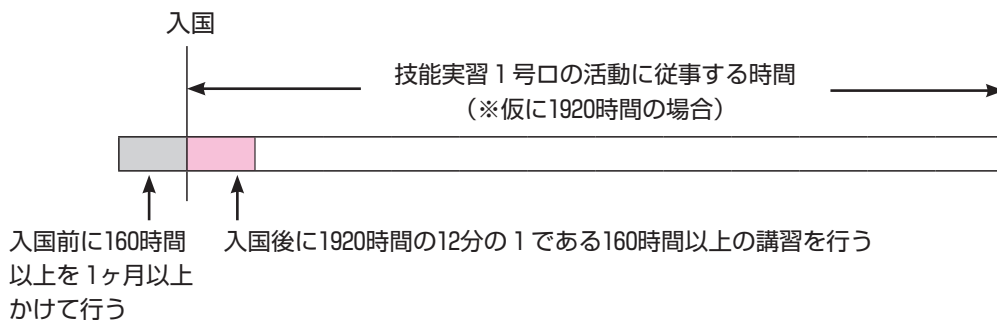
#### <技能実習1号口(またはイ)の活動予定時間の6分の1以上>

例えば、技能実習1号口<sup>\*1</sup>(またはイ<sup>\*2</sup>)の活動時間が、1920時間と予定されている場合、その6分の1である320時間以上の講習を行わなければなりません。



#### <入国前の6ヶ月以内に、1ヶ月以上かけて160時間以上の講習を行った場合は、入国後の講習は12分の1以上>

例えば、技能実習1号口(またはイ)の活動時間が1920時間で、入国前の6ヶ月以内に1ヶ月以上かけて160時間以上の講習を行った場合、入国後は1920時間の12分の1である160時間以上の講習を行うこととなります。



#### 講習の内容

講習では以下の内容をすべて取り扱うことが定められています。

1

日本語

2

日本での生活一般に関する知識

3

技能実習生の法的保護に必要な情報

4

円滑な技能等の修得に資する知識

## II

# 日本語指導の内容 ～学習目標をもつ～

## 1. 技能実習生に必要な日本語を学習目標に

### 日本語を使う場面や生活環境などによって必要とする日本語は違います

日本語の学習と一口に言っても、日本語を使う場面や目的、生活する環境などによって、どんな日本語が理解できるといいのか、日本語でどんなことができるといいのかはそれぞれ異なります。

技能実習生は、日本の地域社会で生活しながら技能等を修得することが滞在の目的ですから、そのために必要な日本語は、当然のことながら、留学生や旅行者とは違います。

講習の日本語指導で何を教えたらいいのかを考えるには、まず技能実習生が必要な日本語とは何かを考え、それができるようになることを学習目標に設定します。そして、学習目標を達成するためにはどんな教材を使って、どのように教えるのかを検討します。

### 必要とする日本語はそれぞれ違います



#### 留学生

- 講義を聞く。
  - レポートを書く。
  - 友達とおしゃべりする。
- etc.



#### 旅行者

- 買い物をする。
  - 料理を注文する。
  - 道を尋ねる。
- etc.



#### ビジネスマン

- 商品を説明する。
  - ビジネス上の取引をする。
  - 仕事の書類を書いたり読んだりする。
- etc.

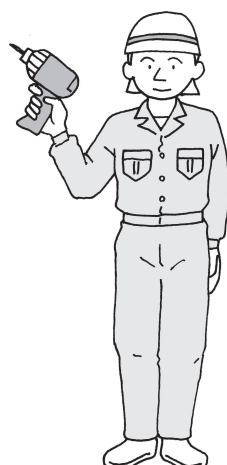


#### 家庭の主婦

- 病院で医者や看護師と話をする。
  - 子供の学校のお知らせなどを読む。
- etc.

### 技能実習生

技能実習生に必要な日本語とは？



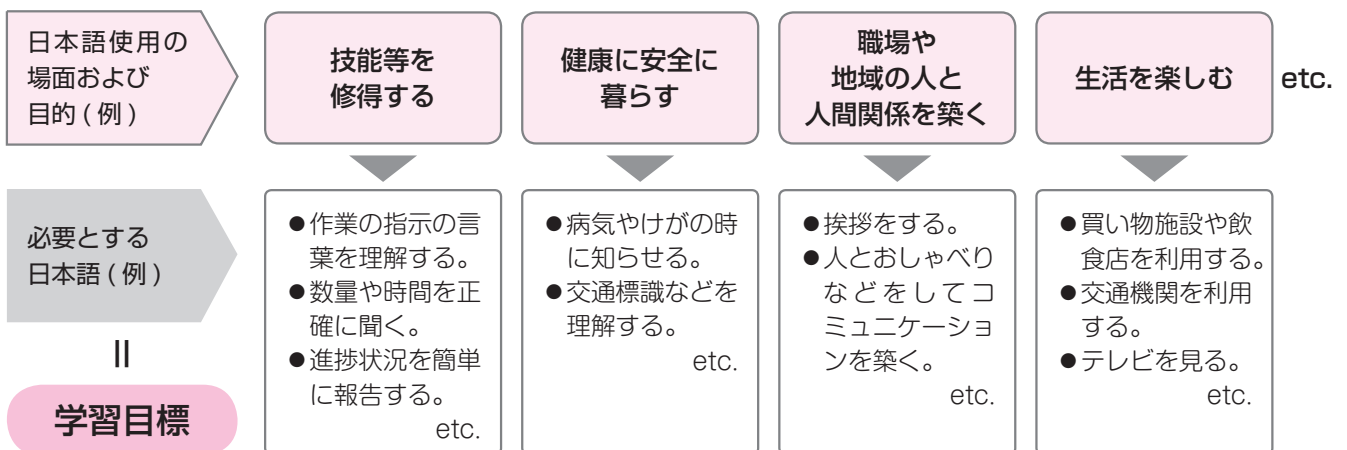
## 技能実習生に必要な日本語とは

まず技能実習生が日本語を使用する場面および目的について考えてみると、下図のように「技能等を修得する」、「健康に安全に暮らす」などがあげられます。次にそのためにどんなことが理解できたり言えたりするといいいのかなどを考えると、「作業の指示の言葉を理解する」、「病気やけがの時に知らせる」など、「日本語を使ってすること」が具体的に見えてきます。これが「技能実習生に必要な日本語」であり、講習ではこれを学習目標に設定して指導します。なお、学習目標をたてて日本語学習に臨むことは講習に限らず、企業配属後の継続学習においても同じです。

技能実習生に必要な日本語は職種や生活環境によっても違ってきます。講習ではそれら個々の要望に対応できないこともありますが、技能実習生が共通に必要な日本語を目標にして学習しておけば、技能実習に入ってから、現場に対応した日本語の習得がより楽に進むでしょう。

## 学習目標には技能実習生の要望も取り入れて

学習目標を考える際は、技能実習生自身の日本語への要望を取り入れる必要があります。日本人と楽しくおしゃべりがしたい、わからない漢字があって不便だからもっと勉強したいなど、それぞれ考えているはず。技能実習生が周囲の人とコミュニケーションを深め、充実した生活を送るために、技能実習生の要望も取り入れて学習目標を設定しましょう。



## 2. 学習目標の例「技能実習生が身につけたい日本語の力」

### 技能実習生に共通の学習目標を一覧にしました

上項でも述べましたが、技能実習生に必要な日本語は職種や生活環境によって違い、したがって学習目標も一様ではありません。ただ、大方の技能実習生に共通に設定できる学習目標もあります。JITCOではそれらを各種調査・資料をもとに、「技能実習生が身につけたい日本語の力」としてまとめました(→7頁)。日本語指導の学習目標を考える際の参考としてご活用ください。

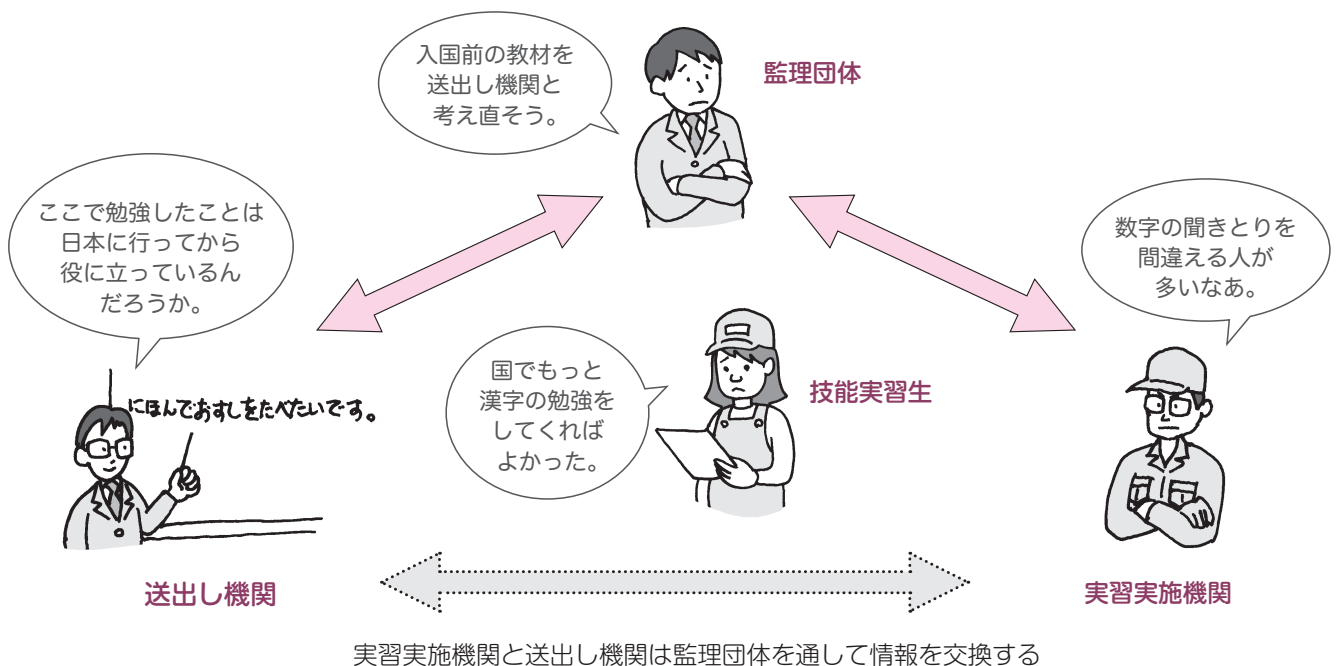
### 3. 学習目標は関係者で共有する

#### 情報の共有によって、時間、労力を有効に使えます

日本語の学習目標、および日本語指導に関する情報は、監理団体、実習実施機関、送出し機関、そして技能実習生で共有しましょう。例えば、講習の途中段階や終了時などに、学習目標と比べて習得状況はどうか、どんな力が足りないかなどを監理団体が把握し、それを関係者に伝えます。それにより、それ以前の指導方法や、今後の指導方針などを見直すことができます。実習実施機関も、受け入れる技能実習生の様子が事前にわかり、配属後の対応を考えることができます。

また、技能実習の現場で技能実習生や実習実施機関が日本語面で困っていることを監理団体が把握して送出し機関に伝えること、あるいは送出し機関での日本語学習の内容や様子を実習実施機関に伝えることなども大切です。

このようにして情報を共有することで、本当に必要な学習が行われているかどうかを関係者全員が把握することができ、無駄のない指導をすることができます。



### 4. 学習目標を確認しながら指導を進める

#### 「日本語チェックシート」で次の目標を確認

「今度来日する技能実習生はどのくらい日本語ができるのだろうか。まだ足りないことは何だろうか」—技能実習生の日本語の力を知りたいと思うことがよくあります。

「Aさんは終了テストが170点」のように、試験の点数で評価をすることもありますが、実はこれでは現場で必要な日本語の力がどのくらいあるのかはよくわからないのではないのでしょうか。

9頁に、7頁の「技能実習生が身につけたい日本語の力」をもとにしたチェックシートの例を示しました。このようなシートでチェックすると、その時点で、日本語でできること、できないことが具体的にわかり、できないことは次の目標になります。

技能実習の現場で本当に必要とする日本語の力をつけるためには、このようなチェックシートで学習目標の到達度を確認しながら指導を進めるのがいいでしょう。



## 【参考資料】「技能実習生が身につけたい日本語の力」

- 技能実習生が最低限身につけたい学習目標として62項目を抽出しました。技能実習の現場、生活する環境、技能実習生自身の興味・嗜好などによって、適宜取捨選択または追加してご利用ください。
- の部分は、講習中に学習するのが難しい場合は、技能実習に入ってから目標にもできるものです。
- 各項目について、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能のうち、主にどの技能を使うかを右の欄に●印で記しました。

日本語使用の場面・目的		技能実習生が身につけたい日本語の力		4技能			
大分類	小分類			聞く	話す	読む	書く
1 人と関係を結ぶ	自分自身について簡単に述べる	1	日本式の言い方で呼ばれた自分の名前を聞いて自分のことだとわかる	●			
		2	自分の名前や国籍を平仮名または片仮名で書く				●
		3	平仮名または片仮名で書かれた自分の名前や国籍を見て理解する			●	
		4	自分の名前、年齢などを聞かれて答える	●	●		
		5	(「しごとは?」「日本で何をしていますか」などと聞かれて)自分が技能実習生だと言う	●	●		
		6	(「会社の名前は?」などと聞かれて)実習実施機関の名前を言う	●	●		
		7	初対面の時に、簡単な自己紹介(名前、出身地など)をする		●		
	挨拶をする	8	技能実習の現場で、出勤、退勤、その他の時に、必要に応じた挨拶をする	●	●		
		9	近隣の人や地域の人に会ったときなどに、簡単な挨拶をする	●	●		
	お礼や謝罪などの気持ちを伝える	10	簡単なお礼を言う。また、お礼を言われたときに簡単に言葉を返す	●	●		
		11	簡単な謝罪をする。また、謝罪をされたときに簡単に言葉を返す	●	●		
	情報交換する(おしゃべり、談話など)	12	「きのう〇〇へ行きました」「すしが好きです」「パソコンがほしいです」など、ごく身近な話題で、簡単な1文ぐらいの文で話す。また、相手からもそのような情報を引き出す	●	●		
		13	「中国の大連から来ました。9月9日に来ました。いま、会社の近くにすんでいます」など、ごく身近な話題で、短い簡単な文を並べて話す	●	●		
2 技能等を修得する	安全を確保する	14	「気をつけろ」「あぶない!」「だめ!」などの注意を促す言葉や危険な状況を知らせる言葉を聞いて理解する	●			
		15	作業現場でよく見かける「火気厳禁」「立入禁止」などの漢字の意味を理解する			●	
	作業道具や機械の専門の言葉を理解する	16	作業道具や機械の名前を聞いて理解する、また自らも言える	●	●		
		17	機械の操作盤などの文字を見て理解する			●	
	作業の指示や注意を理解する	18	「それを机の上において」「10本、入れて」など、簡単な指示や注意を聞いて理解する	●			
		19	「原料を流して1分ぐらいいたら溶剤を入れて。ゆっくり入れること」など、少し詳しい指示や注意を聞いて理解する	●			
		20	指示や説明を受けて、「わかりました」「わかりません」など、理解できたか否かを伝える		●		
		21	指示や説明を受けて、わからない点について聞き返したり、繰り返しを求めたりする		●		
	22	わからないことや知らないことについて質問する		●			
	連絡、報告をする	23	「おわりました」「まだです」など、作業の進捗状況や終了を報告する		●		
	作業の状況を説明する	24	機械の不具合や作業上の問題点などについて、「機械が動きません」「数を間違えました」など、簡単に説明する		●		
		25	機械の不具合や作業上の問題点などについて、「最初は動きました。でも途中から止まりました」など、少し詳しく説明する		●		
	指示書や掲示物を読んで理解する	26	職場内の掲示物などから、日付や時間、注意することなど、ごく簡単な情報を得る			●	
		27	技能実習生用に簡単な文字、文で書かれた指示書を読んで、必要な部分を理解する			●	
		28	作業予定表などを見て必要な情報を得る			●	



				聞く	話す	読む	書く
	作業について話し合う	29	反省会やミーティングで一緒に話し合ったり、作業のやり方などについて意見交換したりする	●	●		
	実習日誌などを書く	30	実習日誌や作業報告書などを簡単に書く				●
	朝礼などの話を聞いて理解する	31	朝礼など、全員に向けて話される話の中で、技能実習生に向けてわかりやすく話されたものなら大まかに理解する	●			
	勤務管理をする	32	「きょう休みたいです」「早く帰ってもいいですか」など、休み・早退・遅刻などを口頭で申し出る、電話で連絡する	●	●		
		33	給与明細や就業規則などの主要な部分を理解する				●
		34	休暇届けや早退届けなどの書類に必要な事項を記入する				●
3 病気・事故・災害などに 対処する	病気・けがに 対処する	35	病状・身体の異常を、「あたまが痛いです」「熱があります」などと、大まかに知らせる		●		
		36	「食後」「1日1回」など、薬の服用回数・量など最低限の必要な情報を理解する	●		●	
		37	医師や看護師の説明で、簡単な言葉でゆっくり話されたものなら大まかに理解する	●			
	緊急時に 対処する	38	「助けて!」「火事!」「〇〇さんが怪我!」など、周囲の人に助けを求めたり、緊急であることを伝えたりする		●		
		39	110番、119番に電話をして、「事故です」「火事です」などの最低限の情報を伝える		●		
	4 経済活動をする	買い物施設や 飲食施設など を利用する	40	チラシなどを見て、商品についての簡単な内容や値段を知る			
41			商品についての説明書を見て、材料や消費期限などについて大まかに理解する				●
42			「トイレ」「入口」「3階」など、よく見かける表示を見て理解する				●
43			商品の売り場やトイレなどがどこにあるか尋ねる		●		
44			商品の特徴や使い方などについて簡単な言葉で質問する		●		
45			飲食店でメニューを見て、ほしいものを注文する		●	●	
46			料理について、「これは豚肉ですか」「これは何ですか」など簡単な質問をする		●		
47		料金を尋ねて、支払いをする	●	●			
銀行・郵便局・ ATMを 利用する		48	窓口で切手などを購入したり、発送手続きをしたりする	●	●		
		49	ATMの操作案内を見て、必要な操作方法を理解する				●
	50	郵便局・銀行の窓口で、現金の引き出しや海外送金をする	●	●			
5 目的の場所 に行く	初めての場所 に行く	51	簡単な道順の説明を耳で聞いて理解し、また説明する	●	●		
		52	電車の停車駅や料金を尋ねる	●	●		
	公共の 交通機関で 移動する	53	駅の窓口で降車駅を告げて切符を買う		●		
		54	駅などで、これから行こうとする駅までの乗車経路を尋ねる	●	●		
		55	駅の券売機で、人に聞きながらでも切符を買う	●	●	●	
		56	駅の構内放送やバスの車内放送を聞いて、必要な情報を得る	●			
57	自転車運転に必要な交通標識や駐輪禁止表示などを見て理解する				●		
6 情報を収集 する	テレビを見る	58	天気予報、台風・地震についての大きな情報を得る	●		●	
	地域の掲示物 などを見る	59	防犯、防災などに関する掲示物を見て、簡単な内容だったら理解する				●
	インターネット を利用する	60	携帯電話やパソコンの操作に必要なごく基本的な用語を理解する				●
7 地域社会の 一員として 行動する	地域社会の マナーを守る	61	「ゴミ」「ペットボトル」「カン」など、ゴミ処理に関する一般的な言葉を理解する	●	●	●	
		62	「禁煙」「ごみをすてないで」など、社会的なマナーに関する掲示物などを見て理解する				●

**[参考資料]「日本語チェックシート」**

- この「日本語チェックシート」は、インターネットサイト「JITCO 日本語教材ひろば」(22頁参照)にあり、ダウンロードできます(メンバー登録が必要です)。(http://hiroba.jitco.or.jp/categories/index/89)
- 技能実習生も同じシートでチェックできるように、対訳をつけました(中国語、英語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語)。

(中国語版サンプル)

日本語使用の場面・目的 使用日语の場合、目的		技能実習生が身につけたい日本語の力 技能实习生希望掌握的日语能力				/	/	/	/
大分類 大分類	小分類 小分類								
中国語版									
<b>&lt;日本語チェックシート&gt; 日语能力検査表</b>						氏名: _____			
※このチェックシートの使い方については、「JITCO日本語教材ひろば」内の、「日本語チェックシートの使い方」をご覧ください。http://hiroba.jitco.or.jp/items/detail/613						評価基準			
1	自分自身について簡単に述べる 对自己情况进行简单的陈述	1	日本式の言い方で呼ばれた自分の名前を聞いて自分のことだとわかる 听到他人以日语的语言习惯叫自己的名字时，知道是在叫自己						
		2	自分の名前や国籍を平仮名または片仮名で書く 使用平假名或片假名书写自己的名字与国籍						
		3	平仮名または片仮名で書かれた自分の名前や国籍を見て理解する 看懂以平假名或片假名书写的自己的名字或国籍						
		4	自分の名前、年齢などを聞かれて答える 被问及自己的名字、年龄等时作出回答						
		5	(「しごとは?」「日本で何をしていますか」など聞かれて)自分が技能実習生だと言う (被问及“您做什么工作”、“您在日本做什么”等问题时)说自己是技能实习生						
		6	(「会社の名前は?」など聞かれて)実習実施機関の名前を言う (被问及“您所在公司的名字是什么”时)说出实习的实施机构的名称						
人との関係を結ぶ 与人建立关系	挨拶をする 问候语、应酬语	7	初対面の時に、簡単な自己紹介(名前、出身地など)をする 与他人初次见面时，进行简单的自我介绍(名字、出生地等)						
	8	技能実習の現場で、出勤、退勤、その他の時に、必要に応じた挨拶をする 在技能实习的现场上班、下班或进行其他活动时，根据需要使用问候语、应酬语							
	9	近隣の人や地域の人に会ったときなどに、簡単な挨拶をする 在与邻居或同片区的人见面等场合，使用简单的问候语、应酬语							
	お礼や謝罪などの気持ちを伝える 表达致谢、道歉等意思	10	簡単なお礼を言う。また、お礼を言われたときに簡単に言葉を返す 简单地表达谢意。或者，他人致谢时作出简单的回应						
	11	簡単な謝罪をする。また、謝罪をされたときに簡単に言葉を返す 简单地表达歉意。或者，他人致歉时能作出简单的回应							
	情報交換する (おしゃべり、談話など) 信息交流 (讲述、谈话等)	12	「きのう〇〇へ行きました」「すしが好きです」「パソコンがほしいです」など、ごく身近な話題で、簡単な1文ぐらいの文で話す。また、相手からもそのような情報を引き出す 就“昨天去XX了”、“我喜欢吃寿司”、“我想要台电脑”等身边的话题进行简单的单句对话。或从对方那里引出此类信息						
	13	「中国の大連から来ました。9月9日に来ました。いま、会社の近くにすんでいます」など、ごく身近な話題で、短い簡単な文を並べて話す 就身边的话题进行诸如“我从中国大连来。我是9月9号来的。我现在住在公司附近”等的简单的多句对话							

<使い方の例>

- 例えば、右のような評価基準を決めて、技能実習生自身、送出し機関や監理団体の日本語指導担当者、実習実施機関の担当者などがチェックします。
- チェックのタイミングは、講習の開始時、講習前半終了時、講習全終了時、技能実習半年終了時など、区切りのいい時にチェックし、学習目標の達成度をみるといいでしょう。
- 評価基準は、その項目が実際にできるかどうか、どのくらいできるかに重点をおき、文法や言葉の間違いにはとらわれないようにするといいいでしょう。

(評価基準例)

できない	少しできる	まあまあできる	よくできる
1	2	3	4

<日本語チェックシート> 日语能力検査表

※このチェックシートの使い方については、「JITCO日本語教材ひろば」内の、「日本語チェックシートの使い方」をご覧ください。http://hiroba.jitco.or.jp/items/detail/613

中国語版

実習生名

氏名: 刘玉文

評価基準			
できない	あまりできない	まあまあできる	よくできる
1	2	3	4

日本語使用の場面・目的 使用日语の場合、目的		技能実習生が身につけたい日本語の力 技能实习生希望掌握的日语能力	3/6	3/8	4/1	6/3	月日
大分類 大分類	小分類 小分類		刘	山田	刘	山田	評価者
1 人と関係を結ぶ 与人建立关系	自分自身について 簡単に述べる 对自己情况进行简单的陈述	1 日本式の言い方で呼ばれた自分の名前を聞いて自分のことだとわかる 听到他人以日语的语言习惯呼叫自己的名字时, 知道是在叫自己	4	4	4	4	評価 (数字などで)
		2 使用平假名或片假名书写自己的名字与国籍 平假名または片假名で書かれた自分の名前や国籍を見て理解する	4	3	4	4	
		3 看懂以平假名或片假名书写的自己的名字或国籍 自分の名前、年齢などを聞かれて答える	4	4	4	4	
		4 被问及自己的名字、年齢等时作出回答 (「しごとは?」「日本で何をしていますか」などと聞かれて)自分が技能実習生だと言う	4	4	4	4	
		5 (被问及“您做什么工作”、“您在日本做什么”等问题时)说自己 自己是技能实习生	3	3	4	4	
		6 (「会社の名前は?」などと聞かれて)実習実施機関の名前を言う (被问及“您所在公司的名字是什么”时)说出实习的实施机构的名称	3	3	4	4	
		7 初対面の時に、簡単な自己紹介(名前、出身地など)をする 与他人初次见面时, 进行简单的自我介绍(名字、出生地等)	3	3	4	4	
	挨拶をする 问候语、应酬语	8 技能実習の現場で、出勤、退勤、その他の時に、必要に応じた挨拶をする 在技能实习的现场上班、下班或进行其他活动时, 根据需要使用问候语、应酬语	3	3	4	4	
		9 近隣の人や地域の人に会ったときなどに、簡単な挨拶をする 在与邻居或同片区的人见面等场合, 使用简单的问候语、应酬语	3	3	4	4	
	お礼や謝罪などの気持ちを伝える 表达致谢、道歉等意思	10 簡単なお礼を言う。また、お礼を言われたときに簡単に言葉を返す 简单地表达谢意。或者, 他人致谢时作出简单的回应	3	3	4	4	
		11 簡単な謝罪をする。また、謝罪をされたときに簡単に言葉を返す 简单地表达歉意。或者, 他人致歉时能作出简单的回应	3	3	4	4	
	情報交換する (おしゃべり、談話など) 信息交流 (讲述、谈话等)	12 「きのう〇〇へ行きました」「すしが好きです」「パソコンがほしいです」など、ごく身近な話題で、簡単な1文ぐらいの文で話す。また、相手からもそのような情報を引き出す 就“昨天去XX了”、“我喜欢吃寿司”、“我想要台电脑”等身边的话题进行简单的单句对话。或从对方那里引出此类信息	2	2	3	3	
13 「中国の大連から来ました。9月9日に来ました。いま、会社の近くにすんでいます」など、ごく身近な話題で、短い簡単な文を並べて話す 就身边的话题进行诸如“我从中国大连来。我是9月9号来的。我现在住在公司附近”等的简单的多句对话		1	1	2	2		

# III

## 日本語指導のポイント


### 1. 指導計画は、入国前、入国後の学習環境を考慮して

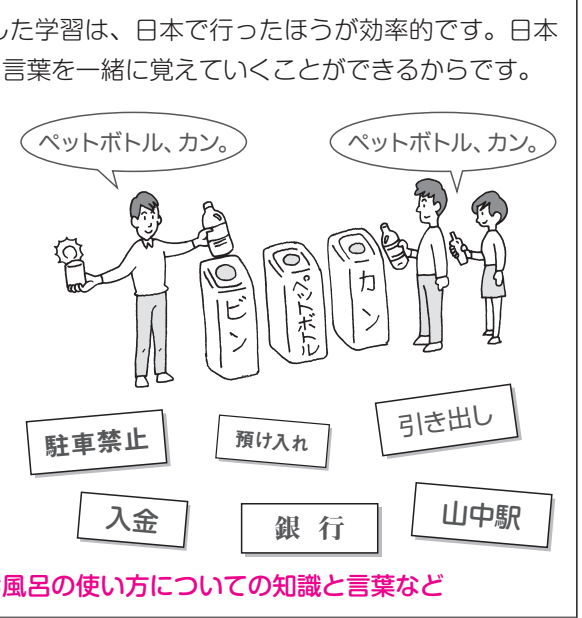

#### 母国でも学習できることと日本で学習したほうが良いことを分けます

日本語指導の内容や方法は、学習環境(どんな人が指導するか、どんな教材があるか、教室外で実際に日本語を使う機会があるかetc.)によっても違ってきます。母国では日本の文化や生活習慣についての知識が十分でない人が日本語指導を担当する場合があります。また日本人と接する機会も少ないでしょうし、教室の外に出たら日本語を見ることも聞くこともあまりないでしょう。一方、日本では、日本語を見たり聞いたり使ったりする機会が教室外にもたくさんあり、入国前とは違う学習方法を取り入れることができます。

講習を入国前にも行う場合は、入国前と入国後の学習環境をよく把握し、指導内容を分けて計画をたてるとういでしょう。

入国前の指導のポイント	
文字	<p><b>&lt;ひらがな・カタカナ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●書かれたものを声に出して読めるようにする ひらがな・カタカナの1文字1文字だけではなく、単語や文章の単位で読めるようにしておきます。</li> <li>●聞いたことを書けるようにする 作業中、わからない言葉があったとき、書いておけばあとで辞書で調べられます。</li> <li>●ひらがなとカタカナで簡単な文が書けるようにする (注)文字の学習は、特にカタカナの言葉の発音・表記に難しいものがあるので、すぐに完全を目指さず、少しずつできるようにすればいいでしょう。</li> </ul> <p><b>&lt;漢字&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「名前、禁煙、立入禁止、～階」など生活の中でよく見る漢字の意味を理解できるようにする 漢字の読み方はわからなくてもいいし、書けなくてもいいです。無理をせず少しずつ、生活の中で見る漢字を理解できるようにしていきます。</li> </ul>
数字、日付	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数字、日付が聞きとれ、言えるようにする 技能実習の現場では、数に関する言葉を聞きとったり読んだりすることが多く必要とされます。数や年月日などの聞き取りに慣れるには時間がかかるので、学習初期から少しずつ継続的に学習します。</li> </ul>
指示の言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>●簡単な指示の言葉を理解し、行動できるようにする 技能実習の現場では、「それを取って」、「そこに置いて」など、指示を受けることがよくあります。指示の言葉を理解し行動できる力を養う学習は初期から取り入れ、徐々に、より複雑な指示が理解できるようにします。</li> </ul>

<p>会 話</p>	<p>●<b>短い文でのごく簡単なやりとりができるようにする</b>        簡単な文での1往復のやりとり(1文の質問に1文で答える)ができるようになるといいでしょう。        来日してからは、やはり簡単な文でいいですから長く会話を続ける力をつけましょう。</p>	
<p>聞く練習</p>	<p>●<b>日本人の発音、話し方をたくさん聞く</b>        母国では日本人と話す機会もあまりないでしょうから、教室では日本人の発音や話し方が聞ける聴解教材をなるべく多く取り入れるようにしましょう。市販の教材のほか、インターネットを利用した教材もあります。母国にいる時から自然な日本語の発音、話し方に慣れるために、聞く練習がたくさんできるように工夫してみてください。</p>	

<p style="text-align: center;"><b>入国後の指導のポイント</b></p>		
<p>日本の生活習慣や文化に関する知識が必要な学習</p>	<p>日本の生活習慣や文化に関する知識と関連した学習は、日本で行ったほうが効率的です。日本では実際のものを使ったり見たりして、物と言葉を一緒に覚えていくことができるからです。</p> <p>●<b>ゴミ処理に関する知識と言葉</b>        ゴミの分別方法などを指導する時は、実際の物を使って、言葉と物を一緒に教えます。</p> <p>●<b>交通機関、ATM、郵便局などの利用や、交通ルールに関する知識と言葉など</b>        教室で言葉を学習したら、街に出て、実際のものを見て確認するといいいでしょう。</p> <p>●<b>その他、食事や社交のマナー、トイレやお風呂の使い方についての知識と言葉など</b></p>	
<p>生<small>なま</small>の教材の活用  教室外での活動</p>	<p>●<b>生の教材(実際の物や道具)を積極的に使う</b>        スーパーのチラシ、パンフレット、商品の包装なども「教材」として大いに活用できます。例えばスーパーのチラシを見て商品や値段について話したりすれば、興味もわき、授業も盛り上がるでしょう。</p> <p>●<b>見学や地域の人との交流などを取り入れる</b>        街に出て、目につく日本語を読んだり、買い物をしたりしましょう。看板などの言葉を10個メモし、あとから意味を調べるなど、何かテーマを作って歩くのもいいでしょう。また、地域の行事などに参加して一般の人と交流すれば、日本語の習得のみならず、日本の生活に興味をもついい機会になるでしょう。</p>	
<p>積極的に話す力を養う</p>	<p>技能実習の現場で技能実習生のほうから積極的に話すことができるように、講習の授業では失敗を恐れずどんどん日本語を使って話す力を養いましょう。そのためには、毎日一定の時間“質問タイム”を設けて積極的に質問しあったりするのもいいでしょう。</p>	

## 2. 楽しく飽きさせない時間割に

### ペア(2人)やグループでの活動、ゲーム式の教材、歌、体操などで授業に変化を

講習の日本語授業は、1日6時間、ときには8時間も行う場合もあります。

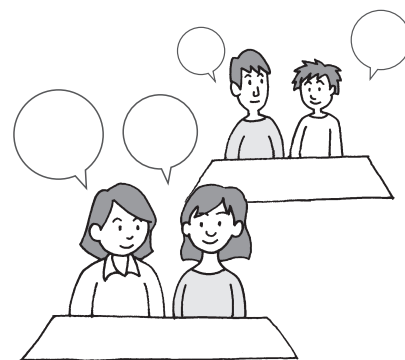
長い時間授業を続けると、当然、疲れたり、注意が散漫になったりしますから、学習の効率もよくありません。ペア(2人)やグループでの活動をしたり、ゲーム式の教材を使ったり、歌を歌ったり、また、体を動かす授業や体操をしたりして、変化のある授業を工夫しましょう。

#### 【時間割例】

※仮に1日に8時間の講習のうち、6時間を日本語授業にあてる場合

時限	
1	
2	<b>主教材</b> ※1日の授業の最初は復習を兼ねて、少しの時間おしゃべりをするといいでしょ
3	<b>主教材</b>
4	<b>文字、数、日付など</b> ※日本語学習開始時から始めるといいでしょう。
休憩	
5	<b>主教材</b>
6	<b>主教材</b>
7	<b>グループでの学習の確認、宿題、作文 または個人でのその日の学習の整理など</b>
8	

ペア(2人)やグループでの活動をたくさん取り入れると、話す・聞く機会が格段に増え、また楽しく活気のある授業になります。



午後は動きのある学習を取り入れるのもいいでしょう。

例えば、指示を聞いて動いたり\*、グループで活動をしてみたり、またはラジオ体操をしたり、歌を歌ったり、いろいろ工夫できます。

※JITCOのオリジナル教材「技能実習生のための日本語 みどり」にもこの活動がたくさん入っています。



- その日の学習を整理する
- わからないところや言葉を友だちと確認する
- 宿題や練習問題をして、グループで答えあわせをする
- 作文を書いて、グループのメンバーで読み合って評価するなど、仲間と協力しあう時間を作るのもいいでしょう。

### 3. なるべく日本語で授業を進める

#### 講習は技能実習の現場に出る前の日本語使用実践の場

講習の日本語授業は母語を使って進めることが多くありませんか。確かに日本語がほとんど話せない技能実習生に対しては母語の使用も多くなるかもしれません。また、文法や単語などの説明は、母語でしたり、母語で書かれたものを見せるなどしたほうが効率がいいこともあります。

ただ、それでもなるべく日本語を多く使って授業を進めるように心がけたいものです。日本語の指導員が日本語だけでなんとかわからせるようにすれば、技能実習生も日本語だけでも伝わるのだと気づき、自信につながることでしょう。

講習は、技能実習生が、今ある日本語の知識を使って、自分の言いたいことをなんとか伝えることに慣れる場でもあります。そこで行われる日本語の指導員や他の技能実習生との日本語でのやりとりは、技能実習の現場での日本語使用に向けた大切な体験になります。

#### 「わかりやすい日本語」で、ジェスチャーやイラストを交えて話します

日本語で授業を進めるためには、指導員のほうが技能実習生が理解できる日本語、つまり「わかりやすい日本語」を使う必要があります。

わかりやすい日本語を話すコツは、「必要なことだけを、短く、はっきり、ゆっくり、繰り返す」ことです。もちろんジェスチャーやイラストなども使います。最初は難しいかもしれませんが、だんだん要領がわかってきますから、ぜひチャレンジしてください。

えーと、じゃあ、次は50頁を見てもらおうかな。ええと、ここにイラストがありますね。このイラストをまず見て。それからCDをかけるから、よく注意して聞いてください。いい？だいじょうぶ？

50頁を見てください。  
50頁、50頁です。  
(イラストを指しながら)  
見てください。  
(CDデッキを指しながら)  
聞いてください。

必要なことだけ

短く

はっきり

ゆっくり

必要に応じて  
繰り返す



#### ワンポイントガイド

##### 日本語しかできない人は指導ができない？

技能実習生の母語ができないから日本語を教えられないという声を聞くことがあります。日本語を学習し始めたばかりの人に対しては難しいかもしれませんが、講習後半の授業だったら日本語だけでもなんとかできるはず。技能実習生にとっても真剣に日本語を使ういいチャンスになります。日本語しかできないメリットを活かしてぜひ授業を担当してみてください。

日本語で授業を進めるコツは、上で述べたように、「わかりやすい日本語」を使うことです。

日本語しかできないんだね。  
じゃあ日本語指導を担当してもらおうか。



## 4. 「聞く」「話す」がたくさんできる工夫を

### 技能実習に必要なのは、まずは「聞く」「話す」力

JITCOの日本語指導の相談事例や調査\*から見ると、実習実施機関が考える「技能実習生に必要な日本語」は、作業に関する言葉を聞きとったり、日本人と会話する力です。

つまり、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能のうち、「聞く」「話す」力がより多く求められています。また技能実習生自身も、作業に関するやりとりの力をもっとつける必要があると考えている人が多いようです。

※「外国人研修生・技能実習生の日本語調査」2009～2010年JITCO実施



### 「聞く」「話す」を多くするには

日本語指導も技能実習生が日本語を「聞く」「話す」活動をたくさん取り入れる必要があります。しかし実際の授業は、文法や言葉についての指導員の説明が多くて、技能実習生はただそれを聞くだけになったり、または教科書を読んで練習問題をやるだけの、「読む」「書く」中心の授業になったりしがちです。

「聞く」「話す」力をつけるには、やはり「聞く」「話す」ことをたくさんしなければなりません。そのためには教材の選定はもちろん、「話す」ことを課題にした授業(例えば、日本人にインタビューをするなど)をしたり、ペア(2人)や少人数のグループで各人がたくさん話せるようにしたりするといでしょう。そのほか、机の配置を工夫したりして話しやすい環境を作ることも必要です。

### <自分の授業をチェックしましょう>



### ワンポイントガイド

#### “聞き返す力”も大切な学習目標です

「わかった?」と聞いたら「わかりました」と答えたのに全然わかっていなかった——技能実習の現場でよく聞かれることです。

もちろん本人はわかったつもりでそう答える場合もあるでしょうが、言葉がわからないために「わかりました」と答えて会話を終えてしまうこともあるようです。

でも、話の内容がわからなくてもそこで諦めてしまわずに、「わかりません。もう一度お願いします。」「えっ、何ですか?」などと聞き返して相手に説明を求めれば、また話を続けることもでき、少ない言葉の知識でコミュニケーションをとっていくことができます。聞き返す力をつけること、これらぜひ学習目標にしてください。

わかりません。もう一度お願いします。

えっ、「かくはん」って何ですか。

聞き返しのテクニック

えっ、60ミリですか?



# IV

## 教材の種類、使い方

### 1. 主教材と副教材

#### 技能実習生の日本語学習のために編集された教材が最適

日本語の教材は数多くありますが、技能実習生に適したものはまだ少なく、技能実習生が覚えたい表現や言葉が出ていなかったり、逆にあまり必要ない言葉がたくさんつまったりしているものがあります。

教室で学んだことと現場で使う日本語にずれがあっては効率のよい学習ができません。教材は技能実習生の日本語学習に適したものを選ぶようにしましょう。

初級の文型ってたくさんあるけど、技能実習生にとっては講習の段階ではあまり必要じゃないものもあるから、ちゃんと選んで教えなければ……。

お客様はお帰りになり。

買い物に行かされました。

もっと野菜を食べたほうが手紙は来週着くはずですよ。

先週、田中さんの家に行きました。

京都に行ったことがあります。

パソコンがほしいです。

そこに置くな。

今、ホーチミンは暑いんです。

コウです。中国からきました。

12時から1時まで休みます。



#### 教材は、主教材と副教材を組み合わせて

日本語の指導では、テキストを1冊決めて(主教材)それに沿って授業をすることが多いと思いますが、主教材1冊だけで目標とする力をつけることはなかなか難しいです。

多くの場合、主教材以外にも、聞いたり話したりする学習や、文章を読む学習などのための教材(主教材に対して副教材といいます)が必要です。副教材は授業に変化をつけるのにも役立ちます。目標とする力をつけるために、主教材と副教材を組み合わせて使うことをおすすめします。

#### 副教材は、学習目的、技能実習生の興味などを考慮して

副教材は、「文字、会話、聞く、読む、書く、発音」などの目的別のものや、歌やゲーム式の練習を集めたものなどいろいろあります。選ぶ時はやはりなるべく技能実習生の日本語学習に適した教材がいいですが、技能実習生の興味を尊重して選ぶのもいいでしょう。インターネットで検索して購入することもできます。

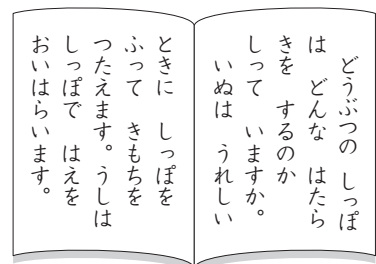


### ワンポイントガイド

#### 小学校の国語の教科書は簡単な日本語？

小学1年生といえば、もうりっぱな日本語の使い手。その小学生が使う教科書には、日本語学習を始める人がまず身につけたい基本的な言葉や文法は特に取り上げられていませんし、技能実習生にとって便利な言葉を探すのも難しいでしょう。またこれで会話の力をつけることも容易ではありません。

すでにある程度日本語を読む力のある人には、読み教材として使えるかもしれませんが、日本語の基礎を学ぶ人には、やはり外国人の日本語学習を目的としたテキストを使うことをおすすめします。

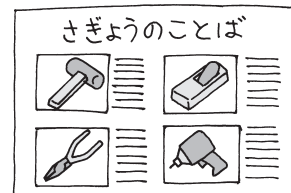


## 2. 職種別の教材

### 現場独自のオリジナル教材を作ることもおすすめです

単一業種の講習などでは専門分野の言葉を学習することもあ  
るでしょう。教材としてはJITCOの専門用語対訳集や職種別  
研修テキストなどがありますが、そのほか、作業現場の写真や  
道具の写真を入れたオリジナル用語集などを作ってみてはいか  
がでしょうか。技能実習に必要な言葉も実感をもって覚えられ  
るでしょう。

現場で使う専門の言葉は、  
写真入りのリストを作ると、  
とても覚えやすいです。



## 3. 身の周りにある教材いろいろ

### 実物の教材は、言葉への興味を引き出します

新聞の折り込みチラシ、雑誌、パン  
フレット、生活用品、飲食物、駅や商  
業施設、図書館などの公共施設……身  
の周りのいろいろなものを“教材”に使  
いましょう。

実際の物や場所は、興味を引き出し、  
それが言葉への関心につながります。  
学習意欲を喚起し、楽しい授業になる  
でしょう。



## ワンポイントガイド

### 「技能実習生の友」は使える！

JITCOが発行している技能実習生のための情  
報誌「技能実習生の友」。これは日本語教材として  
も活用できます。

例えば、自分の国の言葉で記事を読んで、それ  
を日本語で説明すれば話す練習になります。内容  
を日本語で簡単に書いてみるのもいいでしょう。

5ヶ国語対応(中国語、英語、インドネシア語、  
ベトナム語、タイ語)で、JITCOのホームページ  
からダウンロードできます。

※バックナンバーもダウンロードできます。



### 周りにいる人は生きた“教材”

教室で学習したことは実際に使ってみたいもの  
ですが、それには周りにいる人を“活用”しましょ  
う。

同じ建物の中にいる日本語ができる人や、近所  
の人など、周りにいる人にインタビューをしに  
行ったり、その人を囲んで話をしたり、作文を読  
んでコメントをもらったり、いろいろ協力しても  
らいましょう。

どんな  
食べ物が  
好きですか。



# JITCOの日本語教材

1 2 3 7 8 は、「JITCO教材センター」で販売しています。

4 5 6 は、 でご覧になれ、無料でダウンロードできます。  
詳しくは22頁をご覧ください。

## 1 「外国人技能実習生のための日本語」



生活基礎編



日常生活編



一般用語集

### 【生活基礎編、日常生活編】

- 技能実習生が日本で経験するいろいろな場面に応じて必要な日本語を学習できます。
- 学習入門期から使えます。
- ともに別冊付録「構成と使い方(教師用)」「生活用語集(日本語、中国語、英語、インドネシア語、ベトナム語)」つき

### 【一般用語集】

- 実際の生活で役立つと思われる用語約 1,000語を分野別にイラスト入りで掲載。
- 中国語またはインドネシア語の対訳がついた2ヶ国語版があります。

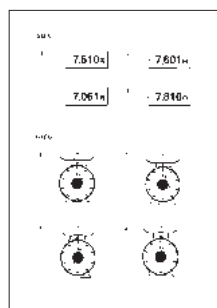
## 2 「技能実習生のための 日本語 はじめの力だめし」



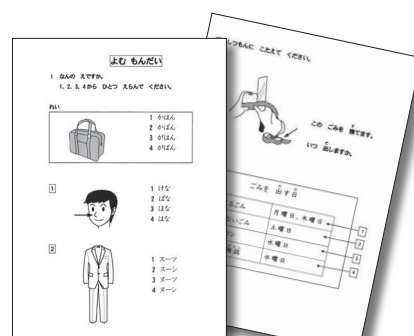
技能実習生向け



指導員向け (CD2枚つき)



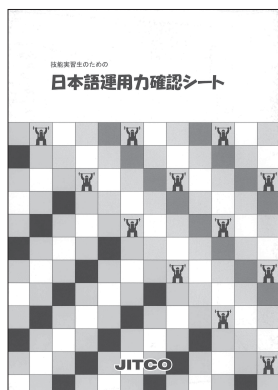
「聞く問題」



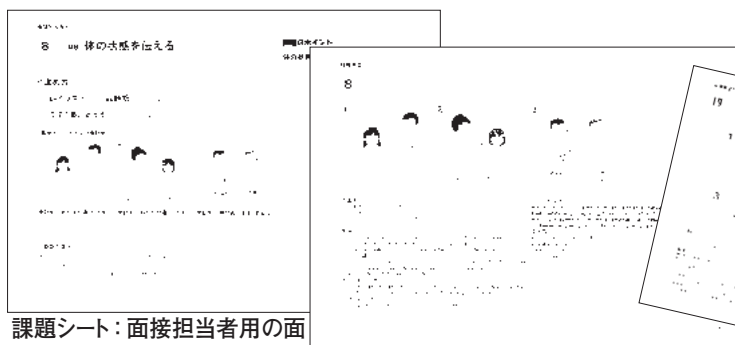
「読む問題」

- 入国前後の技能実習生の、「日本語を聞く」、「文字を読む」等の基礎的な力を、テスト形式でチェックできます。
- 「聞く問題」と「読む問題」がそれぞれ6パターン入っています。
- 「指導員向け」には、使い方マニュアルと「聞く問題」のスク립トが入っており、CDが2枚ついています。

### 3 「技能実習生のための 日本語運用力確認シート」

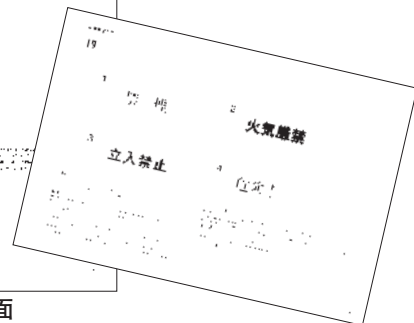


A4版・箱入り



課題シート：面接担当者用の面

課題シート：技能実習生用の面  
(6ヶ国語の翻訳がついています)



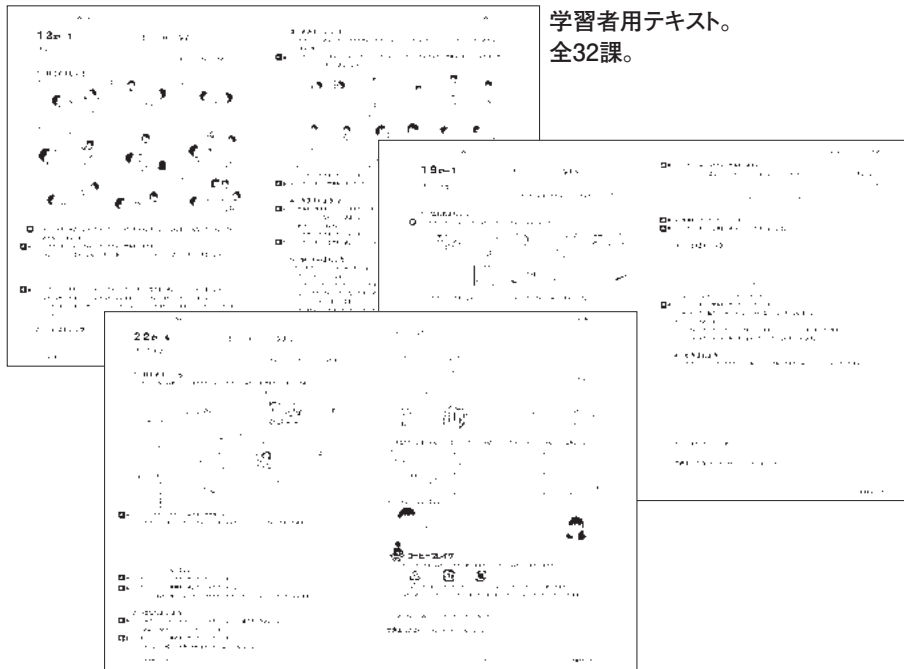
- ペーパーテストではなかなかはかれない会話の力が簡易に確認できます。
- 来日時に使って、どのくらい話せるか、聞き取れるかを確認することで、講習の日本語授業の計画を立てたり、あるいは入国前の日本語教育の改善に役立てることができます。
- 6ヶ国語に対応。通訳なしで使えます。(中国語、英語、ベトナム語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語)
- 課題シート22枚、使い方ガイド、得点メモシート、運用力記録シート等一式箱入り。



課題シートを使って面接形式で確認します。

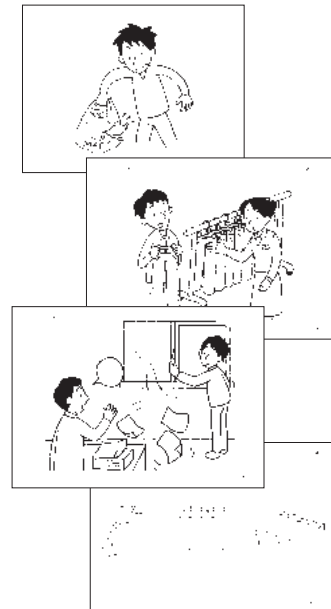
### 4 Jitco日本語教材ひろば

### 「技能実習生のための日本語 みどり」



学習者用テキスト。  
全32課。

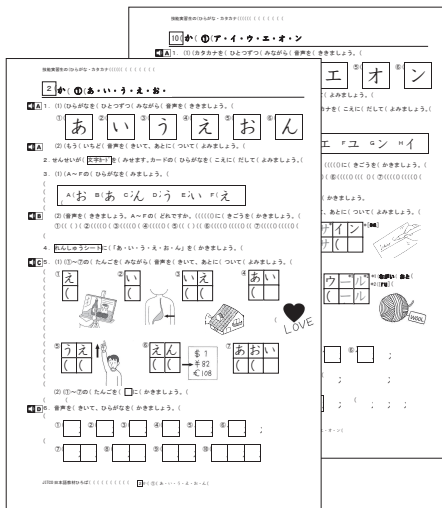
絵カード



テキストの中のイラストがA4サイズに印刷できます。

- 入国前の日本語学習開始期から入国後の講習の日本語授業まで、主教材として使えます。
- 各ページに授業の進め方が書いてあります。日本語教育を専門としない方にも、どのように授業を進めるのかがわかります。
- 授業の進め方は、外国人指導員の方にもわかるように、やさしい日本語で書いてあります。
- コミュニケーション力をつけるために、聞いたり話したりする活動をたくさん取り入れました。
- 音声もダウンロードでき、日本人の発音、話し方がたくさん聞けます。
- テキストの中のイラストは、それぞれA4サイズの「絵カード」として印刷できるようにしました。授業を進めるのに便利です。

# 「技能実習生の ひらがな・カタカナ」



テキスト(A4版52枚)



れんしゅうシート

●ひらがな・カタカナを学習するための教材ですが、音声教材がたくさんついています。文字と音を一致させて学習することにより、発音、単語を聞く力、聞いて書くなどを養うことができます。日本語の学習開始と同時にお使いください。

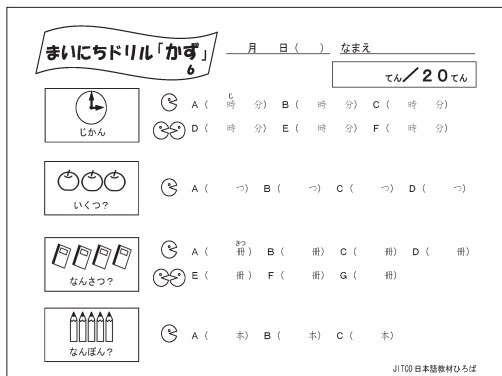
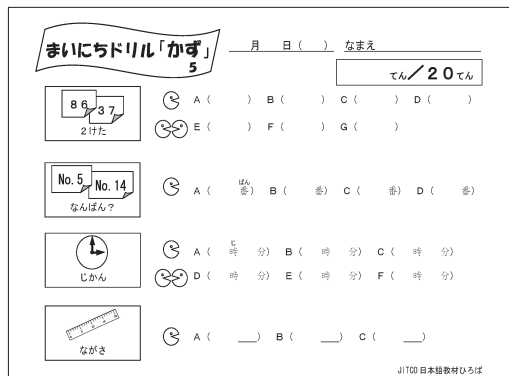
●指導の注意点などをまとめた「指導のポイント」、練習に便利な大小の文字カードなども用意しました。



文字カード

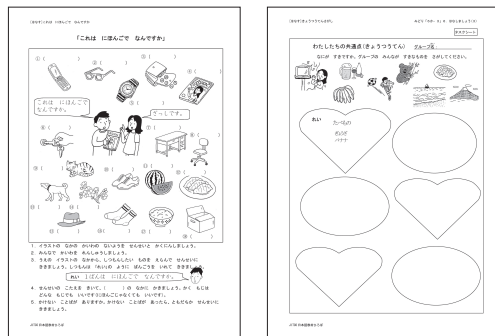
## その他の教材

### ◆ 「まいにちドリル『かず』」

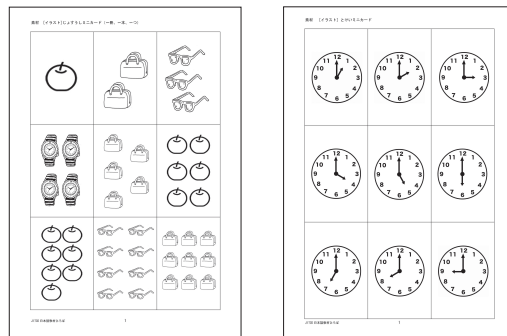


- 数や日付などを聞き取る練習です。
- 1回5分くらいででき、40回分あります。
- 毎日続けることで数を聞き取る力が自然につきます。

### ◆ 話す力をのぼす教材



### ◆ ミニカード



助数詞カード

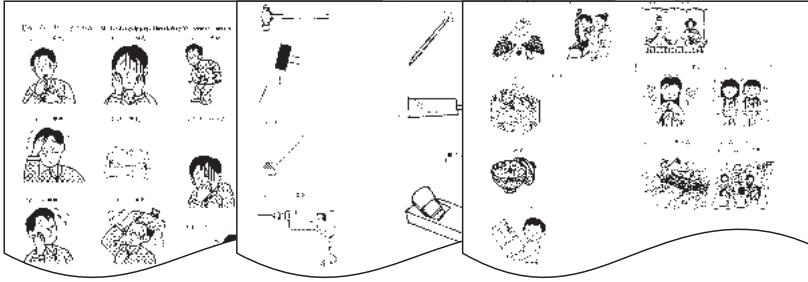
時計カード



- 既習の文法・表現を使って話す練習ができます。
- 1回が短い時間でできますから、実習実施機関でも手軽に使えます。

- 1枚ずつ切り離すと名刺くらいのカードになります。
- 単語を覚える練習に使えます。
- ビンゴなどのゲーム教材としても使えます。

# ◆ ミニイラスト



04 症状      14 作業道具      50 年中行事

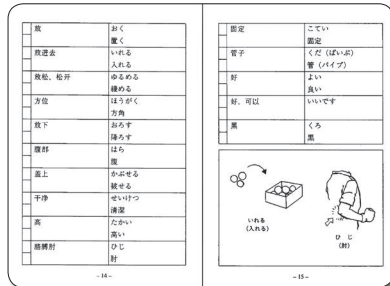
- 55分野、全約1700点のミニイラストです。
- それぞれ、コピー＆ペースト、また拡大・縮小してご利用いただけます。日本語の教材や技能実習で使う資料作りなどにご活用ください。

# ◆ イラスト



- 授業で使うのに便利なイラストです。動詞(113枚)、形容詞(45枚)の他、挨拶場面などがあります。
- 初期設定ではA4サイズで印刷されますが、拡大・縮小して使うこともできます。

## 7 専門用語対訳集



## 8 日本の生活案内



- 技能実習生が日本で生活するうえで、最低限知っておくと便利な生活上のルールやマナーなどをまとめてあります。
- 8ヶ国語対応(中国語、英語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、ミャンマー語、カンボジア語、フィリピン語)。全文日本語との対訳になっています。

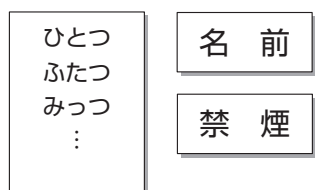
- 技能実習の現場で使う用語を手帳サイズにまとめました。
- 全職種共通のもの2編(中国語、インドネシア語、ベトナム語、フィリピン語、ミャンマー語、カンボジア語)のほか、職種別のものがあります。

### ワンポイントガイド

教室にあると便利なもの 授業に役立つ便利なものをあげました。

- 壁掛け時計
  - カレンダー
  - ひらがな・カタカナ五十音表
  - 世界地図
  - 日本地図
  - マグネット
- 白板に教材などを張るのに使います。

- 壁などに張っておくもの
- <単語を書いた紙>  
毎日見ることで覚えます。



- <写真>話題が広がります。
- 母国・日本の風景、行事、食べ物、  
技能実習の現場、道具、有名人の顔 etc.

# JITCOの日本語教育支援

## 「講習」の日本語指導のための実践講座 **日本語指導セミナー**

- 主に講習の日本語指導について、参加者がグループで話しあったり、日本語の模擬授業をしたりして、実践的に学ぶセミナーです。
- 「聞く」「話す」力をつけるための指導方法や学習計画の立て方などについても考えます。
- JITCOのオリジナル日本語教材「技能実習生のための日本語 みどり」やその他の教材の使い方を具体的にご紹介します。授業の進め方を体感することができます。



## 日本語指導のアイデアを増やす **日本語指導ワークショップ**

- 講習や技能実習の現場で手軽にできる日本語指導について考え、教材作りなどをします。プログラムは年度によって変わります。JITCOホームページ、案内チラシ等でご確認ください。  
プログラム例(1) 「はじめての日本語指導」  
プログラム例(2) 「日本語指導員のための日本語文法入門」



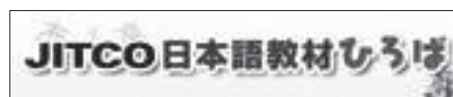
## ご希望の日程・会場で勉強会 **日本語指導オンデマンド**

- JITCOの日本語教育専門職員による出張講座です。ご希望の日程・会場で日本語指導に関する勉強会を開くことができます。
- 日本語の授業を拝見したあとにアドバイスする「日本語授業クリニック」をはじめ、さまざまなプログラムがありますので、ご相談ください。

## インターネットサイト「**JITCO日本語教材ひろば**」

- 技能実習生の日本語指導を担当する方のためのサイトです。「技能実習生のための日本語 みどり」他、各種日本語教材が無料でダウンロードできます。(教材のダウンロードには当サイトへのメンバー登録をお願いします)
- 日本語指導に関する情報も掲載しています。

<http://hiroba.jitco.or.jp/>



## 外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール

- 技能実習生・研修生を対象とした作文コンクールです。
- 毎年、4～5月中旬に募集します。
- 最優秀賞、優秀賞、優良賞に、それぞれ表彰状、および賞金を授与します。



## 各種教材開発・販売

- 技能実習に関する教材、日本語学習の教材等、各種教材を順次開発し、提供しています。
- ※「JITCO教材センター」 tel : 03-4306-1110

日本語教育支援についての詳細はJITCOホームページをご覧ください。

<http://www.jitco.or.jp/nihongo/>

☆本パンフレットについてのお問い合わせ：能力開発部援助課 tel : 03-4306-1168

# JITCO

---